



ゴン だ よ り



ご質問をたくさんいただきます。ありがとうございます。

参考にしていただければ幸いです。

Q: 自分はずっと「勉強やれ! 勉強しなさい。」と言われたことがなかったです。あまり困った覚えもないけれど、「宿題! 勉強!」と声がけした方がよいのでしょうか。

A: そのお子さまの状況によります。確かにいます。こちらのお母さまのように、自分から学習して、学力を獲得しているのなら、その上に「勉強しなさい!」なんて言ったら反抗されるだけです。自分のこれまでの経験の中でも100人中3人くらいはいます。何しろマイペースで、趣味やマンガにたっぷり時間をかけて楽しんで、友だちとも遊ぶ。お勉強は短時間ですませて寝る。中学にいてもテストは90点以上。確かにいるのですが、100人中3人くらいです。

ほとんどのお子さまはそうはいきません。私の家のだんご3兄弟も大変でした。ほめられたことではありませんが中学までなら「ゲーム」のごほうびだったり、高校時代には〇〇〇を約束したりして何とかモチベーションを高めようと苦労してしまいました。上品な言い方ではありませんが、「えさでつる」ってやつでしょう。

そうならないために（一生物の自分で学習する習慣をつけるために）・・・

☆そもそも「何で勉強しなきゃならないのか」「何のために勉強するのか」をはっきりさせておかないてはなりませんね。しかも、それを親子で共通理解をしておけばグングン進んでいけます。

いろいろなご意見があろうとおもいますが・・・

- 1 お勉強すること自体が喜びであるから。(考えてわかる 頑張ることができるようになる 生涯の喜び)
 - 2 自分が将来すすみたい職業や暮らし方が実現できるから。(たいていはテスト 試験の現実あり)
 - 3 社会のリクエストに応えられるから。(相手の要求 情勢を判断して 自分の力を発揮できる)
- などがあげられるのではないのでしょうか。

そうなると当然、国語、算数、理科、社会、英語などの点数だけが重要視されるのではありませんね。総合的に柔軟性のある人間になっていきたいものですね。人間力です。

その力が中学、高校で急速にできあがることもあるでしょうが、できるだけ早めに習慣にしていた方が無理がなく、強固なものになるはずです。

何事にも「鉄は熱いうちに打て」と言われます。「ゴールデンタイム」「マジックタイム」があります。

次回はそんな、習慣作りのためにどんな取り組みがあるのか、一緒に考えていきましょう。

今後もたくさんのご意見、アドバイスをいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

★年末年始休みのお知らせ(冬期講習は行います)12月29(月)~1月3日(土)

☆かけっこ教室 シューティングスター(12月14日・28日 第2・4日曜日)
10時~11時30分 メイン競技場の雨天走路



☆12月の森のプログラム 21(日) (スカイパーク やまびこドーム)
マーク先生とえいごの森 パート2 やきりんごづくり
(定員20名)

ミッション: ドームにひびかせ エンジェルイングリッシュ

		1
2		